



吉川三津子 議員

委託契約には適正な支払いを

質問

ごみの収集運搬の委託について、随意契約がされている。ある1社の事例であるが、市は1ヶ月に3名分の人件費と法定福利費を見積っているが、実際には月当たり運転手の一人と作業員0.2カ月分の約1.2人分の労働実態しかない。また、車両3台分の購入費、保険、税金、点検、燃料費などの維持管理費もすべて支払っているが、実際には1台がフルに稼働し、他の2台は月に半日〜5日くらいしか稼働していないのが実態で

ある。

各課任せではなく、市として随意契約の統一的ルールをつくるべきではないか。

企画部長

委託にはさまざまな形態があり、一本化は難しいが、基本的な考え方をまとめており、しばらく時間がほしい。

質問

議会にも責任があることであるが、コスト削減を追求してきた結果、不安定で低賃金

救急車の受入れ拒否への対策を

質問

救急車の受け入れ拒否は、平成22年度396件だったが、今年度は2月現在で620件になっている。必要な人が必要な時に使えるようマナーの啓発も必要と考えるが、現状と対策は。

消防長

受け入れを断られた理由は、ベッド満床が25件と40%を占めており、高齢者増により新たな入院が困難になっている。

また、救急車による救急搬送件数は前年の約1割増で、その半数近くは緊急性がない

いが、市は委託先の労働者の最低賃金や労働条件、福利厚生を守っていかねばならない。

新宿区では「労働環境チェックリスト」で委託先の労働

症例である。救急車の適正利用の啓発を広報やホームページでしている。

質問

津島市民病院は、看護師不足でベッドが利用できていない。愛西市民も市民病院を利用しており、これは津島市だけの問題ではない。

津島市では、地域医療への取り組みが進められており、愛西市としても積極的に会合に参加すべきではないか。

市長

津島市長は大変熱心で、国

環境をチェックしている。市でも導入してはどうか。

企画部長

参考にする。

の聴取にも出向いている。今後連携を一層進めていきたい。

その他の質問

- ・新庁舎は、必要最小限に
- ・子ども課の設置を

